

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：

製品名称：RC常温メンテ(硬化剤)

製品番号 (SDS NO)：2508_2-1

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途：舗装用材料

使用上の制限：推奨用途以外への使用は禁止する

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称：東亜道路工業株式会社

住所：東京都港区六本木7-3-7

担当部署：製品事業本部

電話番号：03-3405-5011

FAX：03-3405-1818

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体：区分 3

健康に対する有害性

急性毒性(吸入)：区分 3

皮膚腐食性/刺激性：区分 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：区分 2

呼吸器感作性：区分 1

皮膚感作性：区分 1

発がん性：区分 2

生殖毒性：区分 1B

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：区分 1

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：区分 3(麻酔作用)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)：区分 1

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性)：区分 1

水生環境有害性 長期(慢性)：区分 2

GHSラベル要素



注意喚起語：危険

危険有害性情報

引火性液体及び蒸気

吸入すると有毒

皮膚刺激

強い眼刺激

吸入するとアレルギー、喘息または、呼吸困難を起こすおそれ

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

発がんのおそれの疑い

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

臓器の障害

臓器の障害のおそれ

眠気又はめまいのおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

水生生物に非常に強い毒性

長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き**安全対策**

環境への放出を避けること。

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

容器を密閉しておくこと。

容器を接地しアースをとること。

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。

火花を発生させない工具を使用すること。

静電気放電に対する措置を講ずること。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

保護手袋を着用すること。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

保護手袋及び保護面を着用すること。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

火災の場合：指定された消火剤を使用すること。

漏出物を回収すること。

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。

医師に連絡すること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。

皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

貯蔵

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

特定の物理的及び化学的危険性

燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：
混合物

成分名	含有量 (%)	CAS No.	化管法 管理番号
メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート	5 - 10	101-68-8	管理番号448
キシレン	22	1330-20-7	管理番号80
エチルベンゼン	33	100-41-4	管理番号53

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

重量%の通知により当社の利益を不当に害するおそれのあるものは、成分表にて含有量を幅表示にしています。

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート, キシレン, エチルベンゼン

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート, キシレン, エチルベンゼン

化管法「第1種指定化学物質」該当成分

メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート, キシレン, エチルベンゼン

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

呼吸が停止しているときは人工呼吸を行う。

呼吸に関する症状が出た場合: 医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

付着物を清浄な乾いた布で素早く拭き取る。

溶剤、シンナーを使用してはならない。

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。

多量の水と石鹸で優しく洗う。

皮膚に付着した場合: 多量の水/適切な薬剤で洗うこと。

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。

皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の中に全て水が行き届くように洗浄する。

眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

嘔吐物を飲み込ませてはならない。

負傷者を安静にし直ちに医師の診察を受ける。

医師に対する特別な注意事項

特別な処置が必要である。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

火災の場合は泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

初期及び小規模火災には、粉末消火剤、乾燥砂が有効。

大規模火災には、炭酸ガス消火剤が有効。

使ってはならない消火剤

棒状注水の使用は、火災を拡大し危険な場合がある。

特有の危険有害性

不完全燃焼による黒煙を吸引しないよう、消火作業は風上から行う。

消化後の残渣は常温まで冷却し、再度昇温がないことを確認後、後始末する。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

安全に処理できる場合は周囲の可燃物を速やかに安全な場所に移動させる。

周辺設備に散水して延焼を防ぐ。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火作業の際は、風上から行い必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

区域より退避させる。

関係者以外は近づけない。

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

全ての発火源を取り除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。

着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。

下水等へ流入させないよう、漏出量が多い場合は土砂等で拡散を防止する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

多量に流出した場合、盛土で囲ってのち処理する。

掃き集めて、容器に回収する。

回収後の少量の残留分は土砂又はおがくず等に吸収させる。

二次災害の防止策

漏出物を回収すること。

汚染個所を水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

(火災・爆発の防止)

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

容器を接地しアースをとること。

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。

火花を発生させない工具を使用すること。

静電気放電に対する措置を講ずること。

安全取扱注意事項

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

保護手袋を着用すること。

保護手袋及び保護面を着用すること。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

取扱い後は手、汚染個所をよく洗う。

取扱中は飲食、喫煙してはならない。

衛生対策

- 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

保管**安全な保管条件**

- 容器を密閉しておくこと。
- 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
- 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
- ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との同一場所での保管を避ける。

安全な容器包装材料

- 石油缶等、密栓できる鉄製容器

8. ばく露防止及び保護措置**管理指標****管理濃度及び濃度基準値**

- (キシレン)
作業環境評価基準 50ppm
- (エチルベンゼン)
作業環境評価基準 20ppm

許容濃度

- (メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート)
ACGIH(1988) TWA: 0.005ppm (呼吸感作)
- (キシレン)
ACGIH(2021) TWA: 20ppm (眼及び上気道刺激; 血液学的影響; 聴覚毒性; 中枢神経系障害)
- (エチルベンゼン)
ACGIH(2021) TWA: 20ppm (上気道及び眼刺激; 聴覚毒性; 腎臓影響; 中枢神経系障害)

[ACGIH] 特記事項

- (キシレン)
聴力障害
- (エチルベンゼン)
聴力障害

ばく露防止**設備対策**

- 室内等、蒸気のこもる場所の作業は、防爆タイプの局所排気装置を設置する。

保護具**呼吸用保護具**

- 換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

- 耐油性保護手袋を着用する。

眼の保護具

- 側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護具

- 静電気防止用長袖作業衣・安全靴を着用する。

9. 物理的及び化学的性質**基本的な物理的及び化学的性質に関する情報**

- 物理状態：液体
- 色：淡黄微白透明
- 臭い：溶剤臭

融点/凝固点データなし
沸点又は初留点データなし
沸点範囲：136 から144℃
可燃性(ガス、液体及び固体)データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：
爆発下限：1.0vol %
爆発上限：7.0vol %
引火点：27℃
自然発火点：400℃
分解温度データなし
pH：適用外
動粘性率データなし
溶解度：
水に対する溶解度：不溶
溶媒に対する溶解度：有機溶剤に分散
n-オクタノール/水分配係数データなし
蒸気圧データなし
密度及び/又は相対密度：約0.9-1.0
相対ガス密度(空気=1)データなし
粒子特性データなし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性

密閉状態、常温において安定である。

避けるべき条件

高温下では容器爆発の可能性がある。

混触危険物質

強酸、強塩基、酸化性物質、ハロゲン化合物と接触すると異常反応を起こす恐れがある。

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[製品データ]

データなし

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(キシレン)

rat LD50=3500 - 8800mg/kg (NITE有害性評価書, 2008)

(エチルベンゼン)

rat LD50=3500-4700mg/kg (AICIS IMAP, 2020)

急性毒性(経皮)

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[製品データ]

データなし

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(キシレン)

rabbit LD50=1700mg/kg (EPA Pesticide, 2005)

(エチルベンゼン)

rabbit LD50=15400mg/kg (ACGIH, 2011)

急性毒性(吸入)

[製品]

区分 3, 吸入すると有毒

[製品データ]

データなし

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート)

mist: male rat LC50=0.369mg/L/4hr (ACGIH 7th, 2001)

(キシレン)

vapor: rat LC50=6350-6700ppm/4hr (NITE有害性評価書, 2008)

(エチルベンゼン)

vapor: rat LC50=4000ppm/4hr (産衛学会許容濃度の暫定値の提案理由書, 2020)

mist: rat LC50=55mg/L/2hr (換算値: 27.5mg/L/4hr) (MOE初期評価, 2015)

労働基準法: 疾病化学物質

メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート; キシレン

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[製品]

区分 2, 皮膚刺激

[製品データ]

データなし

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート)

ヒト 皮膚刺激性 (EU-RAR, 2005)

(キシレン)

ラビット 紅斑、浮腫、壊死 (NITE有害性評価書, 2008)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[製品]

区分 2, 強い眼刺激

[製品データ]

データなし

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート)

ラビット 軽度の刺激性 (EU-RAR, 2005)

(キシレン)

ラビット 軽度から中等度の刺激性 (NITE有害性評価書, 2008)

(エチルベンゼン)

ラビット 軽度の刺激 (NITE初期リスク評価書, 2007 et al)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性

[製品]

区分 1, 吸入するとアレルギー、喘息または、呼吸困難を起こすおそれ

[製品データ]

データなし

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート)

cat. 1; 産業衛生学会許容濃度の勧告, 2015

皮膚感作性

[製品]

区分 1, アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

[製品データ]

データなし

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート)

cat. 1; EU-RAR, 2005

生殖細胞変異原性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[製品データ]

データなし

[成分データ]

データなし

生殖細胞変異原性データなし

発がん性

[製品]

区分 2, 発がんのおそれの疑い

[製品データ]

データなし

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(エチルベンゼン)

cat.2; IARC Gr. 2B (IARC, 2000)

[IARC]

(メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート)

Group 3 : ヒトに対する発がん性については分類できない

(キシレン)

Group 3 : ヒトに対する発がん性については分類できない

(エチルベンゼン)

Group 2B : ヒトに対して発がん性があるかもしれない

[ACGIH]

(キシレン)

A4(2021) : ヒト発がん性因子として分類できない

(エチルベンゼン)

A3(2021) : 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明

[日本産衛学会]

(エチルベンゼン)

第2群B: ヒトに対しておそらく発がん性があると判断できる物質

[EU]

(メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート)

Category 2; ヒトに対する発がん性が疑われる物質

生殖毒性

[製品]

区分 1B, 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

[製品データ]

データなし

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(キシレン)

cat. 1B; ATSDR, 2007

(エチルベンゼン)

cat. 1B; 産衛学会許容濃度等の勧告, 2021; ACGIH 7th, 2011 et al.

催奇形性データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[製品]

区分 1, 臓器の障害

区分 3, 眠気又はめまいのおそれ

[製品データ]

データなし

[成分データ]

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート)

呼吸器 (CICAD 27, 2000)

(キシレン)

肝臓、中枢神経系、呼吸器、腎臓 (NITE有害性評価書, 2008)

[区分3(気道刺激性)]

[日本公表根拠データ]

(エチルベンゼン)

気道刺激性 (ACGIH, 2011; AICIS IMAP, 2020)

[区分3(麻酔作用)]

[日本公表根拠データ]

(キシレン)

麻酔作用 (NITE有害性評価書, 2008)

(エチルベンゼン)

麻酔作用 (ACGIH, 2011)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[製品]

区分 1, 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

[製品データ]

データなし

[成分データ]

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート)

呼吸器 (CICAD 27, 2000)

(キシレン)

神経系、呼吸器 (NITE有害性評価書, 2008)

(エチルベンゼン)

聴覚器、神経系 (産衛学会許容濃度の提案理由書, 2020)

誤えん有害性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[製品データ]

データなし

[成分データ]

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(キシレン)

cat. 1; kinematic viscosity=0.86(o-), 0.67(m-), 0.70(p-) mm²/s (25°C) (HSDB, 2014)

(エチルベンゼン)

cat. 1; hydrocarbon, kinematic viscosity=0.63 mm²/s (40°C) (CLH Report, 2010)

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

[製品]

区分 1, 水生生物に非常に強い毒性

区分 2, 長期継続的影響によって水生生物に毒性

[製品データ]

データなし

[成分データ]

水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]

(キシレン)

魚類(ニジマス) LC50=3.3mg/L/96hr (NITE 初期リスク評価書, 2005)

(エチルベンゼン)

甲殻類(バイシュリンプ) LC50=0.42mg/L/96hr (NITE初期リスク評価書, 2007)

水生環境有害性 長期(慢性)

[日本公表根拠データ]

(エチルベンゼン)

甲殻類(ネコゼミジンコ) NOEC=0.956mg/L/7days (環境省リスク評価第13巻, 2015)

水溶解度

(メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート)

反応する (ICSC, 1999)

(エチルベンゼン)

0.015 g/100 ml (20°C) (ICSC, 2007)

残留性・分解性

[成分データ]

(キシレン)

急速分解性なし (BODによる分解度: 39% (NITE 初期リスク評価書, 2005))

(エチルベンゼン)

急速分解性なし (良分解性: 標準法におけるBODによる分解度: 0% (通産省公報, 1990))

生体蓄積性

[成分データ]

(キシレン)

log Pow=3.16 (PHYSPROP DB, 2005)

(エチルベンゼン)

log Kow=3.15 (PHYSPROP DB, 2005)

土壌中の移動性

土壌中の移動性データなし

他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

燃焼する場合は、安全な場所で、かつ燃焼または爆発によって他に危害または損害を及ぼすおそれのない方法で行うとともに、見張人をつける。又は自治体の定めるところに従う。

管理型産業廃棄物として公認の処理業者に処理を依頼する。

必ず法規に基づいて実施し、確実に関係記録を保管する。
固形状になったもの、塗布装置等を洗浄した溶剤廃液等も上記に同じような方法で廃棄する。
汚染容器及び包装
上記に同じ

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号またはID番号 : 1133

正式輸送名 :

接着剤、引火性液体含有

分類または区分 : 3

容器等級 : III

指針番号: 128

特別規定番号 : 223

環境有害性

海洋汚染物質 (該当/非該当) : 該当

特別の安全対策

特別の安全対策データなし

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法

引火性液体類 分類3

航空法

引火性液体 分類3

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則 特定化学物質 第2類 特別有機溶剤等

エチルベンゼン

有機則 第2種有機溶剤等

含有有機溶剤

キシレン

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート; キシレン; エチルベンゼン

名称通知危険/有害物

メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート; キシレン; エチルベンゼン

別表第1 危険物 (第1条、第6条、第9条の3関係)

危険物・引火性の物 (0℃ ≤ 引火点 < 30℃)

健康障害防止指針公表物質 (法第28条第3項)

エチルベンゼン

皮膚等障害化学物質 (規則第594条の2)

メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート; キシレン

化学物質管理促進(PRTR)法

第1種指定化学物質

メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート(9.0%);

エチルベンゼン(33%);

キシレン(22%)

消防法

危険物

第4類 引火性液体第2石油類 危険等級 III(指定数量 1,000L)

化審法

優先評価化学物質

エチルベンゼン; メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート; キシレン

悪臭防止法

キシレン

大気汚染防止法

有害大気汚染物質

メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート; キシレン; エチルベンゼン

水質汚濁防止法

指定物質

キシレン

法令番号 28

化学安全性評価

本製品の化学安全性評価は行なわれていない。

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN

IMDG Code, 2022 Edition (Incorporating Amendment 41-22)

IATA 航空危険物規則書 第65版(2024年)

2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2024 TLVs and BEIs. (ACGIH)

Supplier's data/information